

骨粗鬆症の治療を受けている皆様へ

骨粗鬆症治療のために、骨吸収抑制剤を服用、または、注射されている方は、**薬剤関連性顎骨壊死**が発症しやすくなっています。

これまで抜歯を契機に発症するといわれてきましたが、最近では、抜歯と関連なく、歯周病や不適合な義歯による圧迫などでも発症することがわかってきました。

薬剤関連性顎骨壊死の発生予防には、以下の日常習慣と、歯科処置による口腔内の清潔化が有効とされています。

【発生予防 2016年顎骨壊死検討委員会 Position Paper】

- 1) 毎食後の口腔清掃
- 2) 抗菌性洗口剤による含嗽
- 3) 歯垢・歯石の除去、歯周病治療
- 4) う蝕治療
- 5) 根尖病巣治療
- 6) 感染源となる不適合な義歯・クラウン・インレー等の除去

骨粗鬆症治療薬は骨折予防に有効な治療ですが、薬剤関連性顎骨壊死の**発症リスク因子**となります。口腔内を清潔に保ち、薬剤関連性顎骨壊死の発症を予防いたしましょう。